

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

表層0mで28℃以上、水深5m及び10mで27℃以上の地点がありました。

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最大16細胞/mL確認されました。また、赤潮原因プランクトンであるメソディニウム・ルブラムが最大1細胞/mL確認されました。

柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、魚類に対して有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスがヒロウラで0.02細胞/mL確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

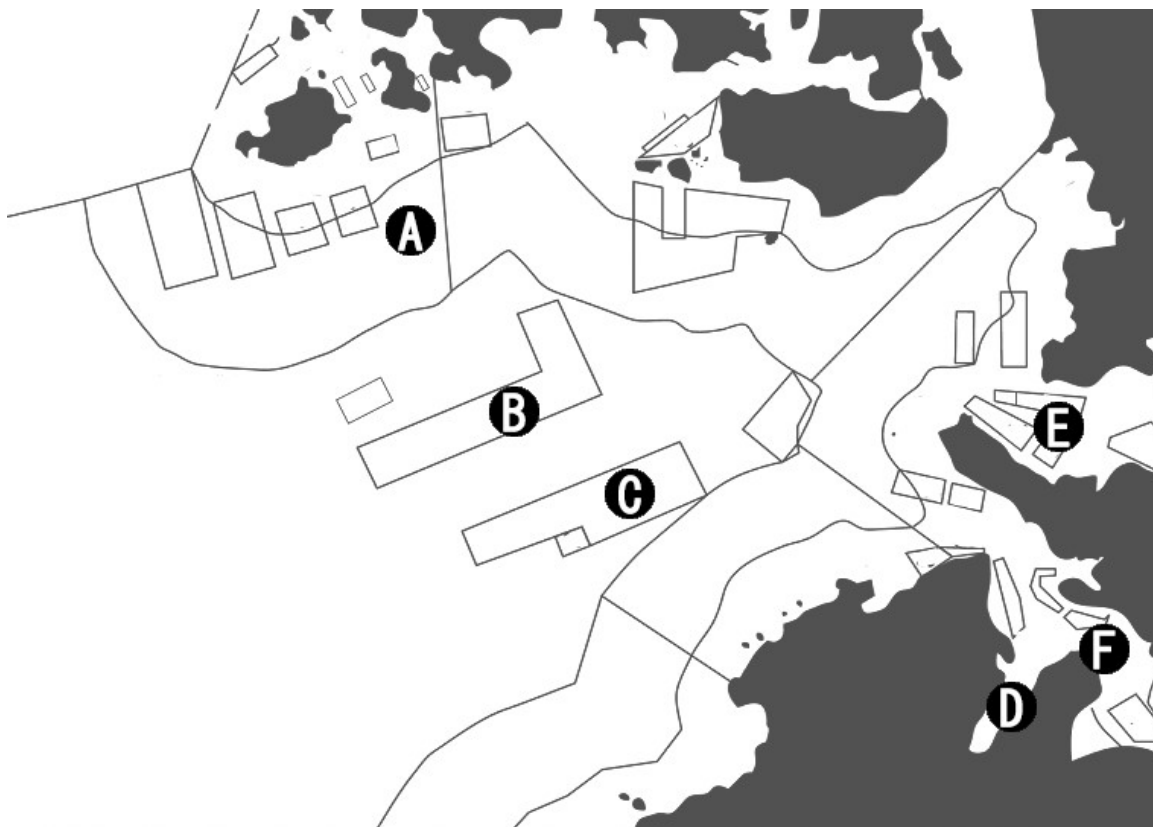
調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度 (m)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロシグマ・ アカシオ	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	メソディニウム・ ルブラム
A 藻津 (-/36.2m) 【09:09】	0	28.4	30.8	7.2	16	0	0
	5	27.1	34.0	7.3	0	0	0
	7	26.8	34.0	7.2	0	0	0
	★ 10	26.4	34.0	7.0	0	0	0
	15	25.7	34.1	7.3	-	-	-
	20	24.9	34.1	6.9	-	-	-
B 大島中央 (-/30m) 【09:17】	0	27.9	33.5	7.2	2	0	1
	5	27.4	34.0	7.2	2	0	0
	10	26.8	34.0	7.3	0	0	0
	★ 14	25.9	34.0	7.2	0	0	0
	15	25.8	34.0	7.3	-	-	-
	20	25.0	34.0	6.7	-	-	-
C 小筑紫中央 (-/49.2m) 【09:26】	0	28.8	33.2	7.2	6	0	1
	5	27.6	33.8	7.4	0	0	0
	10	27.0	34.0	7.4	0	0	0
	★ 11	26.8	34.0	7.3	0	0	0
	15	25.6	34.0	6.4	-	-	-
	20	25.1	34.0	7.2	-	-	-
D 栄喜奥 (-/14.6m) 【09:43】	0	28.6	32.2	6.9	0	0	0
	5	26.9	33.8	7.3	0	0	0
	10	25.5	33.8	7.1	0	0	0
	★ 12	25.2	33.9	7.0	0	0	0
E ヒロウラ (-/25.8m) 【10:04】	0	28.5	32.5	6.9	0	0	0
	5	27.1	33.9	7.3	0	0	0
	10	26.0	33.9	7.2	0	0	0
	15	25.1	34.0	7.1	-	-	-
	★ 20	24.6	34.0	6.7	0	0	0
F 青瀬山 (-/16.3m) 【09:51】	0	28.4	33.0	7.0	0	0	0
	5	26.9	33.8	7.5	0	0	0
	★ 10	25.5	33.9	7.4	0	0	0
	12	25.1	33.9	7.4	0	0	0
	15	24.6	34.0	7.1	-	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：<https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。



A: 藻津 D: 栄喜奥
 B: 大島中央 E: ヒロウラ
 C: 小筑紫中央 F: 青瀬山

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチャオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Ceratium</i> spp. (ケラチウム属)	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—			
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	0.5 cells/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。